2023 年度

名古屋大学大学院人文学研究科

博士前期課程

第１期　学生募集要項

〔一般入試・社会人入試〕

【アドミッション・ポリシー】

下記URLを参照してください。

http://www.nuqa.nagoya-u.ac.jp/policies/m.html

本研究科では 2022 年度に実施する入学試験からインターネット出願を開始します。出願に必要なパソコンやプリンター等の機器，メールアドレス，顔写真データ，支払方法，提出書類等を確認してから出願してください。また出願前には，マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。なお，インターネット出願時に登録されたメールアドレスには，大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので，変更や削除の可能性がなく，日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◆新型コロナウイルス感染症に関する諸連絡

今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況等によっては，入試日程や入試実施方法等を変更することがあります。変更する場合は，当研究科（学部）のホームページ上でお知らせいたしますので，随時ご確認ください。

○人文学研究科ホームページ

URL https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/

名古屋大学大学院

人文学研究科

自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

名古屋大学では，自然災害等による被災者の経済的負担を軽減し，受験生の進学機会の確保を図るため，本入試の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお，詳細は本学ホームページでご確認ください。

◯本学ホームページ（入試案内＞入試情報を知りたい＞大学院入試＞検定料の特別措置（自然災害等による被災））

URL https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/gs-exam/saigai/index.html

◆　不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により，試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は，下記ホームページ等により周知しますので，出願前や受験前は特に注意してください。

○　人文学研究科ホームページ

URL　https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/

人文学専攻

学繋・コース	教育プログラム	分野・専門	前期課程	後期課程
言語文化学繋 大学教員，高校教員など，研究職や教育職，高度専門職を担いうる人材を養成するため，人間の文化の普遍的基盤である様々な言語などに関して，自らテーマを発見し，その緻密な分析を通じて，現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と，高い言語能力，異文化理解力を，地域及び国内外の学術交流の中で養います。	言語学	言語学	○	○
	日本語学	日本語学 日本語教育学 応用日本語学		
英語文化学繋 大学教員，高校教員など，研究職や教育職，高度専門職を担いうる人材を養成するため，英語という言語，および英語で書かれた文学などに関して，自らテーマを発見し，その緻密な分析を通じて，現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と，高い言語能力，異文化理解力を，地域及び国内外の学術交流の中で養います。	英語文化学	英語学 英米文学 英語教育学		
文献思想学繋 大学教員，高校教員など，研究職や教育職，高度専門職を担いうる人材を養成するため，人間の文化の普遍的基盤である東西の文学，古典，そして哲学・倫理に関して，自らテーマを発見し，その緻密な分析を通じて，現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と，高い言語能力，異文化理解力を，地域及び国内外の学術交流の中で養います。	西洋文献学	ドイツ語ドイツ文学 ドイツ語圏文化学 フランス語フランス文学		
	東洋文献学	日本文学 中国語中国文学		
	哲学倫理学	哲学 西洋古典学 中国哲学 インド哲学		
超域人文学繋 大学教員，高校教員など，研究職や教育職，高度専門職を担いうる人材を養成するため，映像，メディア，表象文化，移民・マイノリティ，ジェンダー，東アジアと日本の文化など学際的な問題について自ら課題を発見し，多角的なアプローチによる資料や対象の分析に基づいて，これを解明する能力を，地域及び国内外の学術交流の中で養います。	超域人文学	映像学 日本文化学 文化動態学 ジェンダー学 メディア文化社会論		
歴史文化学繋 大学教員，高校教員，学芸員など，研究職や教育職，高度専門職を担いうる人材を養成するため，世界の諸地域における人間の歴史的・文化的な営みについて，文献史料・美術作品・物質資料，民族誌資料等の厳密な分析とフィールドワークに基づいて，自ら課題を発見し，オリジナルな視点からこれを解明する能力を，地域及び国内外の学術交流の中で養います。	歴史文化学	日本史学 東洋史学 西洋史学 美学美術史学 考古学 文化人類学		

◆英語高度専門職業人コース 英語に堪能で英語圏文化に精通した通訳・翻訳家や英語教員など，英語のスペシャリストの養成を目指します。一般学生のほか，在職のまま修学する社会人や中学・高校の英語教員なども受け入れます。	英語高度専門職業人プログラム	○	／

※G30 国際プログラム群 言語学・文化研究プログラムと「アジアの中の日本文化」プログラムの学生募集は，別途実施します。

1. 出願資格

一般入試

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者

社会人入試

次の(1)～(9)のいずれかに該当し，大学院入学時までに通算2年間以上の社会経験（民間企業，官公庁，学校教育機関，自営業，家事，ボランティア活動などの経験。ただし，研究生および大学院学生としての期間は含みません。）を有する者

(1) 日本の大学を卒業した者または2023年3月31日までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第104条第7項第1号の規定より学士の学位を授与された者または2023年3月31日までに授与される見込みの者【注1】

(3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または2023年3月31日までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2023年3月31日までに修了見込みの者【注2】

(5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2023年3月31日までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2023年3月31日までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

(9) 本研究科において，個別の出願資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，2023年3月31日までに22歳に達した者【注3】

【注1】 (2) について短期大学及び高等専門学校の専攻科を2023年3月31日までに修了見込みであり，かつ，学位授与機構から学士の学位が授与される見込みである者は，文系教務課内　人文学研究科入試担当あて照会してください。

【注2】出願資格の（4）に該当する者は，28ページを参照し，文系教務課内　人文学研究科入試担当あてに2022年6月30日（木）午後4時までに必着で必要書類を郵送してください。

【注3】 (9) により出願しようとする者は，28ページを参照し，文系教務課内　人文学研究科入試担当あてに2022年6月30日（木）午後4時までに必着で必要書類を郵送してください。

2. 専攻及び募集人員

専攻	学繋または コース	教育 プログラム	分野・専門	募集人員
人文学専攻	言語文化学繋	言語学	言語学	104名
		日本語学	日本語学，日本語教育学，応用日本語学	
	英語文化学繋	英語文化学	英語学，英米文学，英語教育学	
	文献思想学繋	西洋文献学	ドイツ語ドイツ文学，ドイツ語圏文化学， フランス語フランス文学，	
		東洋文献学	日本文学，中国語中国文学	
		哲学倫理学	哲学，西洋古典学，中国哲学，インド哲学	
	超域人文学繋	超域人文学	映像学，日本文化学，文化動態学， ジェンダー学，メディア文化社会論	
	歴史文化学繋	歴史文化学	日本史学，東洋史学，西洋史学，美学美術史学， 考古学，文化人類学	
	英語高度専門 職業人コース	英語高度専門職業人プログラム		

※第1期試験及び第2期試験を合わせた募集人員は，一般入試及び社会人入試を含めて104名です。

3. 出願手続

出願手続は，インターネット出願システムでの出願登録及び入学検定料の支払いを行った後，出願期間内に必要な出願書類などを提出することにより，完了します。

インターネット出願での出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは，出願手続完了にはなりません。

なお，支払い期限は出願登録日を含め4日間です。支払い期限内に入金がない場合は，出願登録は自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。（キャンセルとなったときは再登録してください）

※払込締切日までの日数が 4 日より短い場合は，払込締切日が優先されます。詳細は9ページ
6. 入学検定料の払込方法を参照してください。

出願者は，5. 出願書類等（1）～（11）の書類等を文系教務課内　人文学研究科入試担当へ出願期間内に届くように提出してください。出願書類の完備しない願書は受理しません。

◎ 注 意 事 項

（1） 出願書類の郵送は，インターネット出願システムから印刷する「出願用宛名用紙」をカラーで出力し，角形２号の封筒に貼りつけて，締切日時までに必着するよう送付してください。
詳細については，16 ページ「STEP 6 （必要書類の印刷と郵送)」を確認してください。海外からは追跡のできる方法で送付してください。

（2） 出願後は記載事項の変更及び検定料の払い戻しはしません。

4. 願書受付期間

2022 年 7 月 25 日（月）から 7 月 29 日（金）午後 4 時（日本時間）までとします。

書類の出願は郵送に限ります。出願書類の持参及びメールでの出願はできません。ただし，「研究計画書」については郵送及びメールでの送付も必要です。出願書類については，5. 出願書類等を確認してください。

必ず書留速達郵便（海外からは追跡のできる方法で発送）とし，期間内〔7 月 29 日（金）午後 4 時（日本時間）まで（郵送必着）〕に到着するよう送付してください。期間後到着分は受理しませんので注意してください。海外から郵送の場合も出願期間内に到着するように準備してください。また，出願受付期間に提出された 5. 出願書類等に不備がある場合，受理しません。出願書類の到着についてはこちらから連絡はしません。

※インターネット出願登録期間および入学検定料払込期間

2022 年 7 月 11 日（月）から 7 月 26 日（火）午後 3 時（日本時間）まで

・インターネット出願については，13 ページ 14. インターネット出願の流れを参照してください。

・入学検定料の払込については，6. 入学検定料の払込方法を参照してください。

5. 出願書類等

インターネット出願以外の所定用紙は，以下の人文学研究科ホームページからダウンロードし，A4 判用紙に片面印刷のうえ履歴書，出願書類チェック表は黒ボールペンで記入してください。

（https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/examination/examination-sub4/）

所定用紙を印刷できない場合は，文系教務課内　人文学研究科入試担当までご相談ください。

	出願書類等	注　意　事　項
(1)	名古屋大学大学院入学志願票及び写真票	〔インターネット出願システムから出力されたものを，A4 サイズで片面カラー印刷してください。〕 ※出願前３か月以内に撮影した正面向き，上半身，無帽，背景なしの顔写真データを用意し，インターネット出願システムからアップロードしてください。 インターネット出願システムに入力した住所に合格通知を送付することから出願後に住所が変更になる場合には必ず文系教務課内 人文学研究科入試担当までご連絡ください。
(2)	名古屋大学人文学研究科　履歴書	人文学研究科ホームページから所定の様式を A4 判用紙に片面印刷し，提出してください。
(3)	卒業（見込み）証明書，または学位取得（見込み）証明書	・証明書は必ず原本を提出してください。コピーや PDF 等のデータでの提出は受付けません。（証明書の原本を提出できない場合は，発行元または公的機関で原本と相違ないことを証明したものを提出してください。）

		・名古屋大学文学部卒業者または卒業見込者は不要です。 ・氏名変更等により，証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合，それを証明できる書類を併せて提出してください。 ・大学院修了者も学部の卒業証明書または学位取得証明書を提出してください。 【日本の大学卒業の場合】 卒業（見込み）証明書を提出してください。 【海外の大学卒業の場合（中国を除く）】 取得学位の記載がある卒業（見込み）証明書を提出してください。 卒業（見込み）証明書に取得学位の記載がない場合には，学位取得（見込み）証明書も提出してください。 【中国の大学卒業の場合】 中国政府直轄の財団である『中国教育部学位与研究生教育発展中心（CDGDC）』のホームページにて「学位証書」の認定報告（PDF）を取得しA4判に印刷したものを提出してください。 手続きの詳細は，CDGDCのホームページで確認してください。 名古屋大学に在籍している大学院研究生，在籍した大学院研究生も提出してください。 卒業見込みの場合は，大学発行の学位取得見込み証明書を提出してください。なお，合格した際にはCDGDCの「学位証書」を11月末までに提出してください。
(4)	成績証明書	・証明書は必ず原本を提出してください。コピーやPDF等のデータでの提出は受付けません。（証明書の原本を提出できない場合は，発行元または公的機関で原本と相違ないことを証明したものを提出してください。） なお，中国の大学出身者は，「中国高等教育学生信息網（CHSI）」の発行する中国高等学校学生成績験証報告の原本でも認めます。 ・証明書は大学学部以上の全学期の成績（大学に編入学している場合は，編入学前の大学等も含む。）が記載されたものを提出してください。 ・名古屋大学文学部卒業者または卒業見込者は不要です。 ・氏名変更等により，証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合，それを証明できる書類を併せて提出してください。 ・大学院修了者も学部の成績証明書を提出してください。

<table>
<tr><td>(5)</td><td>研究計画書</td><td>人文学研究科ホームページからダウンロードした所定のワードファイル「研究計画書」に記述してください。研究計画書で使用できる言語と文字数については，志望する分野・専門の「注意点」（25～27 ページ）に指示がある場合には，それに従ってください。志望する分野・専門の「注意点」に言語と文字数に関する記載がない場合には，日本語 4,000 字以上または英語 1,600 語以上で記述してください。「研究計画書」のワードファイル名を「研究計画書（氏名）」として，「MC1 期オンライン口述試験連絡用メールアドレス（mc_hum@adm.nagoya-u.ac.jp）」へワードファイル形式のまま添付して出願期間中に送信してください。また，A4 判用紙に印刷し，他の出願書類と共に郵送してください。
社会人入試の出願者のうち，以下のプログラムを希望する場合は，研究計画書とは別に以下の書類も提出してください。
<table><tr><td>英語高度専門職業人プログラム</td><td>「社会人としての勤務・活動内容」に関する報告書を日本語 1,000 字以内または英語 400 語以内で記述してください。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>(6)</td><td>志望分野・専門の論文等</td><td>提出は任意です。以下①～③のいずれかがある場合には A4 用紙に印刷して提出してください。
<table><tr><td>①すでに卒業論文を提出している場合はその写し</td><td rowspan="3">1 部</td></tr><tr><td>②卒業論文に準じる論文があればその写し</td></tr><tr><td>③現在作成中の卒業論文の要旨（日本語 4,000 字程度または英語 1,600 語程度，A4 判横書）</td></tr></table>〔注〕 1） ①～③について，日本語または英語以外の言語を使用している場合及び使用する予定がある場合には，その論文の要旨（日本語 4,000 字程度または英語 1,600 語程度）を作成し添付して提出してください。
2） 提出した論文は返却しません。</td></tr>
<tr><td>(7)</td><td>日本語能力を証明する書類の写し</td><td>日本語を母語としない者は，以下のいずれかを提出してください。ただし，未受験の場合でも出願することは可能ですので，履歴書の所定欄にその旨記入してください。
・日本語能力試験（JLPT）の点数が明記された「合否結果通知書」のコピー
・実用日本語検定（J.TEST）の点数が明記された「成績表」のコピー</td></tr>
<tr><td>(8)</td><td>外国語検定試験の成績通知書の写し</td><td>提出は任意です。</td></tr>
<tr><td>(9)</td><td>学位授与証明書</td><td>出願資格（2）の該当者は，学位授与機構が証明したものを提出してください。</td></tr>
</table>

(10)	（外国人のみ） 在留カードのコピー （両面）	・**日本国内に在住する外国人**は，在留カードのコピー（両面）を提出してください。 ・**日本国外に在住する外国人**は**パスポートのコピー**を提出してください。 ・出願書類等には，これらの証明書等に記載された氏名を用いてください。
(11)	出願書類チェック表	人文学研究科ホームページから所定の様式を A4 判用紙に片面印刷のうえ記入し，提出してください。

6. 入学検定料の払込方法

（1） 入学検定料 ３０，０００円

出願時において国費外国人留学生の者は入学検定料は必要ありません。インターネット出願時に「検定料の免除について」をチェックしてください。また，他大学から受験する国費外国人留学生は在学大学が発行する国費留学生であることの証明書を提出してください。

なお，誤って「検定料の免除について」を選択し，入学検定料の支払いをせず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。

※料金のほかに支払手数料（500円程度）が必要となります。

（2）払込期間（日本時間）

2022年7月11日（月）から2022年7月26日（火）午後3時まで

（3）払込方法

入学検定料等の支払いは，以下のいずれかの方法で行ってください。詳細については，15ページ「STEP ５ （入学検定料の支払い）」を確認してください。

・クレジットカード
・ネットバンキング
・コンビニエンスストア
・Pay-easy対応銀行ＡＴＭ

（4）入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は，納入済みの入学検定料は返還いたしません。ただし，以下に該当する場合は，納入された入学検定料を返還します。なお，返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。

ア 入学検定料納入後，出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※入学検定料の返還は銀行振込で行われます。海外の銀行の口座に返還する場合には，返還される金額は大きく減額される他，返還に多大な日数を要しますので，入学検定料の納入は慎重に行ってください。

返還請求方法については，名古屋大学ホームページ（http://www.nagoya-u.ac.jp/）→入学案内→入試情報を知りたい→大学院入試→入学検定料の支払いについて　を確認してください。

7.「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化について

人文・社会科学の研究のみに関わる場合，以下は必要ありません。

例外的に理科学系分野との融合領域に関わる場合にのみ必要な手続きとなります。

2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い，大学・研究機関による教職員及び学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。

これに伴い，該当する者は本学に出願の際に「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また，合格時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

「類型該当性の自己申告書」及び「類型該当判断のフローチャート」

https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/form1_export-control_jp

御自身の判断で提出していただければ結構です。不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部　安全保障輸出管理事務局

E-mail：anzen@aip.nagoya-u.ac.jp　TEL：052-747-6702

8. 受験上の配慮を必要とする者の出願

病気，負傷，障がいのある者等で，受験上の特別な配慮を必要とする者は，出願に先立ち，以下によりあらかじめ文系教務課内　人文学研究科入試担当へ郵送にて相談してください。

(1) 相談の時期

2022 年 7 月 7 日（木）午後 4 時まで（郵送必着）

(2) 相談方法

以下の三点を 7 月 7 日（木）午後 4 時までに必着で**郵送**してください。なお，必要に応じてそれ以外に適宜書類を添付してもかまいません。

（ア）受験上の配慮申請書（「MC1 期入学試験 志望分野・専門名」を記入し，障がい等の状況，受験上の配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの（A4 判サイズで様式は自由です。）

（イ）障がい等の状況が記載された医師の診断書または障害者手帳等（診断書は受診日から 3 ヶ月以内のもの。写しでも可。）

（ウ）障がい等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書。）

(3) 郵送（連絡）先

〒464-8601　名古屋市千種区不老町 B4-4(700)

名古屋大学　文系教務課内　人文学研究科入試担当

なお，入学後の修学に関して相談の希望がある場合は，出願期間終了日時までにメールにてお問い合わせください。

Email　hum@adm.nagoya-u.ac.jp

9. 選抜方法

入学者の選抜は，新型コロナウイルス感染防止のために，従来の対面での筆記試験と口述試験ではなく，**第１次選抜（書類審査）と第２次選抜（オンラインでの口述試験）**により行います。

(1) 第１次選抜

第１次選抜は，書類審査により行います。第１次選抜の結果は，2022 年８月 26 日（金）午前 10 時頃（予定）に，人文学研究科ホームページ（https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/）において発表します。

第１次選抜合格者へは８月 30 日（火）までにオンライン口述試験の詳細をインターネット出願で登録したメールアドレスへ連絡します。

受験票はインターネット出願システムを通して通知しますので，印刷して通信環境テストおよびオンライン口述試験時に提示してください。

詳細については，16 ページ「STEP ７ （受験票の印刷）」を確認してください。

(2) 第２次選抜

第２次選抜は，第１次選抜の合格者に対し，次のとおり口述試験を行います。

試験日	時間	試験科目
2022 年９月８日（木），９日（金）	別途指定します。	口述試験

オンライン方式で実施します。第１次選抜合格者には，オンライン口述試験の時間やその他の情報をインターネット出願で登録したメールアドレスへお知らせする予定です。９月２日（金）に実施する予定の通信環境テストについてもあわせてお知らせします。なお，オンライン口述試験および通信環境テストの日時に関して，受験者の個別の要望にはお応えしません。

10. 合格者発表

2022 年９月 16 日（金）午前 10 時頃（予定）に，人文学研究科ホームページ（https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/）において発表し，追って合格者には郵送により本人あて通知します。ただし，人文学研究科ホームページでの発表は受験生の便宜を図るための速報ですので，郵送される合格通知により必ず確認してください。

電話・電子メールなどによる合否の問い合わせには一切応じられません。

11. 入学手続

別途通知します。

12. 入学に要する経費

入　学　料		282,000 円	（予定額）
授　業　料	半期分	267,900 円	（予定額）
	（年 額	535,800 円）	（予定額）

なお，入学時または在学中に学生納入金の改定が行われた場合には，改定時から新たな学生納入金額が適用されます。

〔注〕授業料は，春学期及び秋学期の 2 期に分けて，春学期分は 4 月に，秋学期分は 10 月に納入します。

13. その他

⑴ 願書受付期間内に出願書類が全て揃わない場合は受理しません。

⑵ 受理済みの出願書類は，いかなる理由があっても一切の修正等を認めません。また，返却はしません。

⑶ 出願書類に虚偽記載があった場合や必要事項を記載しなかった等の場合は，入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

⑷ オンラインによる口述試験が可能なネットワーク環境および映像・音声通信が可能な情報機器（パソコン，タブレット，スマートフォン等のいずれか）を準備してください。

⑸ ⑷に用いるパソコン，タブレット，スマートフォン等は一つだけです。複数を同時に使用することは認めません。

⑹ 住所・氏名・生年月日その他の個人情報は，入学選抜，合格発表，入学手続及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用します。また，取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外に使用しません。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 入学検定料の支払い → STEP 6 必要書類の郵送 → STEP 7 出願完了 → 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書（※詳細は各研究科学生募集要項参照）

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/**

または、

大学ホームページ ▶ **https://www.nagoya-u.ac.jp/**

からアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は［マイページ登録］からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って［仮登録メールを送信 >］をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から［ログインページへ］をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。

※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて［ログイン］をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して［次へ］をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して［この内容で登録する］をクリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをおしてください。

STEP 4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ

②研究科の選択

③入試区分と留意事項の確認

④出願専攻等の選択

⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。

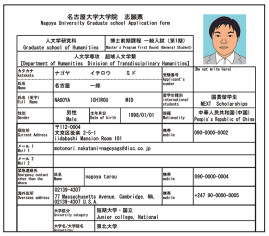
⑥個人情報（氏名･住所等）の
入力

⑦出願内容の確認
志願票（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

お支払い期限は申込日を含め4日間です。ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）										

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）											
確認番号メモ（6桁）											
収納機関番号（5桁）	5	8	0	2	1						

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。
※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。
ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
LAWSON
MINISTOP
マルチコピー機 または Famiポート
あなたと、コンビニに、FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う※
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える

ローソン ミニストップ

Loppi
「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「マルチペイメントサービス」を選択
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。

ファミリーマート

マルチコピー機またはFamiポート
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認

セイコーマート

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う※

取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6

必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から**「書留速達郵便」**で郵送してください。

出願に必要な書類　⚠ 募集要項を必ず確認してください

- ●インターネット出願サイトから印刷する書類

- ●本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類

- ●出身大学等に発行を依頼する証明書

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒（24㎝×33.2㎝）に貼り付けて作成

※海外から発送する場合は宛名シートと封筒の指定はありません。追跡可能な方法で発送してください。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。
それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自でA4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。

分野・専門及びその内容

言語文化学繋

分野・専門名	内容
言語学	東アジア・東南アジア・中央アジア・ヨーロッパを含む世界の諸言語・個別言語の構造及び機能の精密な観察・分析に基づき，個別言語の特徴，言語間の普遍性と多様性を記述的・理論的観点から明らかにする。また日本語と他言語の対照研究も可能である。
日本語学	多様な日本語資料に基づいて，日本語の歴史・地理・社会的な動態と多様性を言語事実として緻密に観察記述し，その構造的な特質について実証的に追究する。伝統的な日本語学・日本文学研究の蓄積を踏まえつつ，日本語に関わるあらゆる課題に即して最適の方法論と理論的立場を選択する。
日本語教育学	教育の素材となる日本語そのものを運用及び構造の二側面から追究する。また，様々な日本語教授法の背景をなす理論，日本語習得に関わる種々の要因を検討し，理論面，実践面から日本語教育のあり方を追究していく。
応用日本語学	日本語教育学・日本語学・日本語教育方法論について体系的な専門知識を身に付けると共に，日本語教育に関連する諸テーマについて研究を行う。研究成果を日本語教育の現場へ応用する実践的かつ実証的な研究活動を行う。

英語文化学繋

分野・専門名	内容
英語学	現代英語及び英語史における言語事実の綿密な観察に基づき，生成文法を中心とする一般言語理論の観点から，英語の共時的研究と通時的研究の有機的な融合を追究することにより，英語及び人間の言語能力の本質に迫ることを目指す。
英米文学	文学批評の歴史と理論を把握して，近代初期から現代にいたる英語圏の文学作品を文献実証的に分析し，そこに見られる時代精神や社会風潮といった言語文化の諸相を解読する。
英語教育学	英語教育学・第二言語習得論・心理言語学に関わる理論と研究方法を学ぶことで，外国語（第二言語）としての英語の習得及び教育についての知識と理解を深める。

文献思想学繋

分野・専門名	内容
ドイツ語ドイツ文学	近代初期から現代に至るドイツ語圏の文学・文化を，文化史的・思想史的・歴史的背景を踏まえながら学び，今日的な問題に対する洞察力と判断力を涵養する。スイス，オーストリアなどドイツ以外のドイツ語圏の文学・文化へも視野を広げることにより，文学・文化の多様性に対する理解を深め，人間性の本質を問う。
ドイツ語圏文化学	ドイツ語圏における，言語，文学，芸術，文化を対象にした研究をおこなう。その際，様々な可能性を否定せず，多角的で柔軟な視野を持ち，グローバルな広がりの中でのドイツ語圏の表象文化の諸相を分析し，解読・理解することを目標とする。
フランス語フランス文学	中世から現代に至るフランス語圏の文学・思想・文化を，歴史的背景を踏まえながら学び，真に今日的な批評精神を涵養する。フランス語を記述・分析し，一般言語理論や諸学問分野とも関連させて，その言語的特質・生態を探求する。
日本文学	古代から中世，近世を経て近現代に至る日本文学の諸作品と作家を幅広く研究対象とする。文芸理論と書誌学についての深い理解に基づいた，作品解釈を目指す。
中国語中国文学	古典から現代にいたる中国語の文献を精密に読み解き，理論的・実証的に分析することを基礎とする。その上で，中国文学研究においては，さらに作品表現の背景を解明することを目指す。また，中国語学研究においては，共時的研究や通時的研究を通して中国語を多角的・体系的に把握し，中国語のありようを解明することを目指す。
哲学	哲学の歴史，及びそれに立脚した哲学理論を，西洋を中心にしつつ日本の思想・哲学をも含め，形而上学，自然科学，認識，論理，言語，倫理，宗教，政治，人類学等々の各分野にわたる原典読解や二次文献・研究文献の読解を通して，総合的に理解する。
西洋古典学	西洋古典文学，西洋古典語学，ギリシア・ローマ神話学，ギリシア・ローマ宗教学。古典古代の個々のテクストの正確な読解を通して，古代ギリシア・ローマの文化と社会の正しく深い理解を追究し，西洋文明や人間の本質を考える。
中国哲学	漢語原典の正確な読解を踏まえた上で，中国本土ならびに近隣の東アジア漢字文化圏の学術思想・宗教・精神文化を対象にした，研究と教育を目指す。
インド哲学	南アジアにおける哲学，宗教，文学，伝統的学術などの原典を精緻に解読し分析することにより，アジアの基層文化を探求すると同時に，人間の本質の理解をもめざす。

超域人文学繋

分野・専門名	内容
映像学	映像の生産，流通，上映，表象，受容に関わる多様な側面を，歴史的・社会的・政治的・経済的・文化的・テクノロジー的・エコロジー的文脈を視野に入れながら，実証的・理論的に研究する。
日本文化学	文化・文学・批評に関する理論を把握したうえで，地域や学問領域をまたいで多角的に日本文化を捉え直す。とりわけ東アジア地域の関係性の中において日本文化の姿を捉え直す。
文化動態学	人が移動するという事象や，それを受けた長期的な文化・社会の再編成の問題を，歴史的な視野を持ちつつ領域横断的に分析する。東北アジアの国際移動や越境する歴史と記憶のダイナミズム，ヨーロッパの移民／国民の境界をめぐる変化など，幅広いテーマを取り上げつつ，多角的・複眼的なアプローチを用いて研究する。
ジェンダー学	フェミニズム，ジェンダー，セクシュアリティに関する研究を基盤として，社会における事象と表象を学際的に検証する。それを通じて，既成概念にとらわれない人材の育成と研究成果の社会的還元を目指す。
メディア文化社会論	メディア・コミュニケーション，文化表象，社会現象における諸問題や研究課題を分析・研究することを目指す。量的及び質的研究方法論を用い，様々な視点から専門分野における理論構築および応用能力を培うことを目的とする。

歴史文化学繋

分野・専門名	内容
日本史学	古代～近現代史にいたる，日本史上のさまざまな課題について，文献史料に基づいて実証的に分析し，過去の人間の営みを解明することを目指す。史料の調査にあたり，フィールドワークを重視する。
東洋史学	古代～近現代にいたる，アジア諸地域の歴史を対象とし，現地言語をはじめとする外国語文献を十分に利用しつつ，実証的な研究を進め，多様なアジア世界の諸相につき，より正確な理解を目指す。
西洋史学	古代～近現代にいたる，西洋史上のさまざまな課題について，伝統的な歴史学の方法論を基礎としながらも，文書史料だけではなく表象や記憶，物質文化などに関わる多様な史資料を分析・総合することで，西洋世界の重層的な歴史を読み解くことを目指す。
美学美術史学	日本・東洋・西洋の美術作品を，方法論を踏まえて実証的に分析し，美術の歴史を体系的に構築する。また，美術作品を起点としつつ，人間が生み出した視覚文化の諸相について歴史的意義を明らかにする。

分野・専門名	内容
考古学	遺跡・遺物の実証的研究に基づき社会や文化を解明し，人類史の再構成を目指す。遺跡を発掘し，出土した遺物を分析して考古学的事実を正確に把握するとともに，それらを深く掘り下げて新しい歴史像を再構築する。
文化人類学	日本及び世界の多様な社会と文化，思想をフィールドワークと民族誌，資史料にもとづいて精緻に理解するとともに，文化人類学の歴史と理論をふまえ，人類史的な比較の視点から人間の本質の解明を目指す。

英語高度専門職業人コース

英語高度専門職業人プログラム

英語教員，翻訳者，通訳者，国際関係部署で活躍する人材といった英語スペシャリストに必要な英語の知識と運用能力を習得させるとともに，英語圏の言語文化を多角的に分析・批評できる能力を養成する。

指導可能領域

言語文化学繋

分野・専門名	内容
言語学	音声学，音韻論，形態論，統語論，意味論，語用論，言語類型論，歴史言語学，社会言語学，対照言語学（例：日韓・日中・日英語の対照），認知・機能言語学，フィールド言語学，文法化研究，言語接触研究。なお，特定の個別言語（例：日本語，朝鮮韓国語，トルコ語，フィンランド語）の研究であっても複数の言語を対象とした研究であっても可。
日本語学	日本語学及び日本語史の諸領域（音声学，音韻論，形態論，統語論，意味論，語用論，文字・表記，文章・文体），日本語学史，日本語資料論
日本語教育学	日本語教授法，外国語教授法，日本語習得研究，談話分析・会話分析，現代日本語の意味・文法研究，日本語の誤用分析，日本語と他言語の対照研究，日本語の語彙・文法教育，コーパス研究，認知言語学
応用日本語学	文法論（記述文法，日本語教育のための文法研究），日韓対照研究，日本語教育教材論，第二言語習得，第二言語運用論，接触場面の研究，談話分析，日本語コミュニケーション論，日本語教育工学，ICT を活用した日本語教育，オンライン日本語教育，言語運用に対する評価，学習ストラテジー論，自己調整学習

英語文化学繋

分野・専門名	内容
英語学	英語学の諸領域（統語論，意味論，音韻論，形態論，語用論，書記体系論，英語史），生成文法，認知意味論，歴史言語学，日英対照言語学，コーパス研究
英米文学	英語圏文学，イギリス小説，英詩，シェイクスピアを含むイギリス演劇，イギリス文化史，英米児童文学，アメリカ小説，アメリカ詩，アメリカ演劇，アメリカ文化史，文学批評理論，トランスレーション・スタディーズ
英語教育学	英語教育学・第二言語習得論の諸領域（英語教授法，英語教材論，英語コミュニケーション論，第二言語習得論，英語教育工学，言語評価論）・心理言語学・バイリンガリズム

文献思想学繋

分野・専門名	内容
ドイツ語ドイツ文学	18 世紀から現代に至るドイツ語の詩・小説・演劇・批評など文学全般，ドイツ思想史，スイス戦後文学，記憶論，想起の文化，翻訳論，ファシズム研究，感情研究，テキストマイニングを用いた文学研究，ドイツ語教育
ドイツ語圏文化学	ドイツ語圏語学，ドイツ語圏文学，ドイツ語圏の芸術（詩，音楽，映画，演劇，ダンス，ミュージカル，人形劇，デザイン，芸術運動など），ドイツ語圏のメディア（広告・雑誌など），日独比較文学・文化研究，身体文化研究，女性芸術家研究
フランス語フランス文学	フランス文学史，フランス語圏の詩・小説・演劇，フランス文化史，フランス批評理論，フランス近・現代思想，比較文学，比較思想，文学と芸術，文学と宗教，テクスト理論，テクスト生成研究，コンピュータによるテクスト分析，フランス語学の諸領域（統語論，意味論，音韻論，形態論，語彙論，語用論，フランス語史），日仏対照言語学，翻訳論，フランス語教授法
日本文学	古代から中世，近世に至る古典文学の諸作品及び作家についての研究。特に王朝物語，近世小説，和歌，俳諧など。書誌学及び出版文化史。古典文学や書物文化研究をふまえた近現代文学研究。
中国語中国文学	現代中国語学，中国古典語学，中国語教育，日中対照言語学，中国古典文学（文言，白話），日中比較文学，日本漢文学，近現代中国文学，日中台比較舞踊史
哲学	哲学・倫理学および政治・社会思想史の諸領域
西洋古典学	ギリシア・ローマの叙事詩，悲劇，喜劇，抒情詩，散文，神話，宗教。古典ギリシア語，古典ラテン語
中国哲学	儒学，経学，諸子百家，漢唐訓詁学，朱子学，尚書学，清朝考証学，日本漢学
インド哲学	インドの六派哲学，論理学，文法学，修辞学，法典，仏教，ジャイナ教，サンスクリット文学，叙事詩，宗教哲学，比較哲学

超域人文学繋

分野・専門名	内容
映像学	映像批評理論，映画史，各国・地域映画（とくに東アジア映画），初期映画，越境映画，合作映画,インディペンダント映画，映像文化（アート，音，ジェンダー，エスニシティ，モダニティ，記憶，身体など），ジャンル（ドキュメンタリー，アニメーションを含む），作家，演技，スター，映画祭，観客，メディア産業，検閲，プロパガンダ，トランスメディア，映像とデジタルメディア，映像アーカイヴ，映像教育，テレビ，写真，映像と社会・政治・経済，映像とテクノロジー，映像と環境問題，映像と生命
日本文化学	日本近現代文化論，日本近現代文学論，アジアの中の日本文化論，文化受容論，表象文化論，比較文学文化論，詩論，文学理論，批評理論
文化動態学	社会学，社会史，マイノリティ研究，移民研究，ディアスポラ論，国際社会学，ナショナリズム／トランスナショナリズム研究，比較文化史，日系人研究，ヨーロッパ地域研究，中国地域研究，東北アジア地域の歴史社会学，植民地社会論，少数言語地域研究，日本社会の社会学的研究
ジェンダー学	ジェンダー，セクシュアリティ，フェミニズムに関する特に以下の領域：クィア理論，LGBT 研究，経済・労働・社会政策，社会調査，スポーツ，スポーツマネジメント
メディア文化社会論	批判的言説分析，カルチュラル・スタディーズ，ファンダム研究，パンデミック社会論，メディア・コミュニケーション論，ソーシャルメディア論，出版メディアの受容研究，日本視覚文化，消費文化，大衆文化論，日本の戦時大衆文化，メディアと文化における表象の政治，オンライン・ジャーナリズム，東アジア出版文化，体系機能言語学，近現代家族と社会，フェミニスト＆クィア研究，近世イギリスのニュース文化，日本近世文学，情報格差，デジタルヒューマニティ

歴史文化学繋

分野・専門名	内容
日本史学	古代史・中世史・近世史・近現代史
東洋史学	日本を除くアジア諸地域に関する歴史的視点にもとづく研究，特に中国前近代史・近現代史及び中国民族史，東南アジア史など。
西洋史学	古代地中海文明史，ヨーロッパ中世史，ヨーロッパ近現代史，アメリカ史，比較史，文化交流史

分野・専門名	内容
美学美術史学	西洋美術史，日本美術史，東洋美術史（特に中国絵画史を中心とする）。
考古学	日本考古学，先史考古学，歴史考古学
文化人類学	文化人類学の諸領域（文化人類学，社会人類学，宗教人類学，芸術人類学，構造人類学，医療人類学，観光人類学，開発人類学，応用人類学，人類学史），物質文化研究，民族芸術学，民俗学，民俗芸能研究，日本芸能史，日本思想文化史，宗教テクスト研究，宗教学，アーカイヴ研究

英語高度専門職業人コース

英語高度専門職業人プログラム

英語圏文学，英語圏文化，トランスレーション・スタディーズ，英語教育学，英語教材開発

2023 年度人文学研究科博士前期課程第 1 期
【一般入試・社会人入試】研究計画書に関する注意点

	分野・専門／コース	使用できる言語	研究計画書の注意点
1	言語学	日本語を母語としない人は日本語，日本語を母語とする人は日本語または英語	日本語であれば 4,000 字程度で，英語であれば 1,600 語程度で書くこと（参考文献の部分は字数または語数として数えない）。希望指導教員（複数でも可）も書くこと。
2	日本語学	日本語	研究背景，研究目的，研究の意義，研究方法を提示すること。
3	日本語教育学	日本語	4,000 字程度で入学後の研究計画について述べること。
4	応用日本語学	日本語	出願者の研究テーマに関連する先行研究を取りあげて，そのうち主要な 3 点について研究テーマとの関連性を具体的に説明すること。また，出願者の研究テーマが当該研究分野において，どのような学術的な意義を持つのか，どのような新規性があるのかについて述べること。
5	英語学	日本語・英語	修士論文のテーマとなる英語の構文や言語事実について，どのような理論的枠組みに基づき，どのような方法で研究を進めるのか，現在進行中または提出済みの卒業論文があれば，それとの関係も含めて述べること。
6	英米文学	日本語・英語	すでに提出した卒論，あるいは現在構想・執筆中の卒論の内容を 800 語以上の英語で，それに続けて修論の研究テーマについての見解を 2,000 字以上の日本語で書くこと。
7	英語教育学	日本語・英語	取り組もうと思っているテーマに至った背景（主要な関連文献のレビューを含む），研究目的，具体的な研究方法，予想される結果とその理由について，見出しをつけてわかりやすく説明すること。
8	ドイツ語ドイツ文学	日本語・ドイツ語	中心となる主題を明確にし，その主題をどのような観点からどのようなアプローチ法で探求したいのかをできるだけ具体的に示すこと。ドイツ語の場合は 1,600 語以上。
9	ドイツ語圏文化学	日本語もしくはドイツ語	入学後に取り組みたい研究内容がわかるように，3,000～4,000 字程度（ドイツ語の場合は 1,200～1,600 語程度）でまとめること。その際，たとえば，以下のような項目を含むこと：研究テーマ（タイトル）・研究動機（卒業論文と関連がある場合は，それについても触れること）・先行研究・研究方法。
10	フランス語フランス文学	日本語・フランス語	博士前期課程で予定している研究の内容を，2,000 字以上の日本語で書くこと。またそれと同内容のものを 800 語以上のフランス語でも書くこと。
11	日本文学	日本語	研究の目的と，そのためにどのような作業を計画しているか，4,000 字程度で説明しなさい。その際に，古典を読むことの意義について，必ず言及すること。

2023年度人文学研究科博士前期課程第1期
【一般入試・社会人入試】研究計画書に関する注意点

	分野・専門／コース	使用できる言語	研究計画書の注意点
12	中国語中国文学	日本語（例・引用などは中国語・英語も使用可。日本語訳をつけること）	形式的・抽象的な記述は避けて，「問題の所在」，「研究の目的および趣旨」，「研究の独創性」といった点を中心に，必要であれば例や文献名を示すなどして具体的に言及しつつ，明確に述べること。
13	哲学	日本語・英語	これまでの研究（既に執筆した場合には卒論）の内容を具体的に述べたあと，修論のテーマとの関係を明らかにしながら今後の研究計画を2,000字程度の日本語で書くこと。またそれと同内容のものを英語でも書くこと。
14	西洋古典学	日本語または英語のみ	研究計画書では，西洋古典学に関わるどんな勉強をしてきたかをも詳しく具体的に説明すること。なお研究計画書と併せて，これまでに書いた論文も，或いは卒論を作成中であればその要旨（4,000字程度）も提出することが望ましい。
15	中国哲学	日本語	特になし。
16	インド哲学	日本語・英語	主要な先行研究に言及しつつ，着想の背景，研究の目的，先行研究の問題点，本研究の方法等を提示すること。また，扱う古典文献を適宜引用し，自作の訳を添えること。
17	映像学	日本語・英語	研究の題目，目的，背景・動機，調査・分析の対象と方法，先行研究との違い，映像学や関連分野における位置付け，重要関連文献を，日本語（4,000 字以上）または英語（1,600 語以上）で明確に記すこと。
18	日本文化学	日本語	卒業論文もしくはそれに準じる論文（執筆中も可）について，主題，目的，意義，方法を説明し，具体的な作品等の分析を示すこと。また修士論文について，主題，目的，方法，見通しを説明すること。
19	文化動態学	日本語・英語	内容には希望される研究課題を挙げ，研究動機，研究目的，研究方法とその研究の意義について明確にしてください。
20	ジェンダー学	日本語または英語	（１）これまでに行ってきた研究（卒業論文など）との関連について説明しつつ，書くこと （２）主要な参照文献リストを含めること
21	メディア文化社会論	日本語・英語	研究背景，研究目的，研究の意義，研究方法を日本語（1,600字以上2,000字以内）または英語（800語以上1,000語以内）で述べること。その中で，卒業論文またはそれに準じる論文（現在執筆中のものを含む）と修士論文のテーマとの関係を明らかにし，重要な関連文献を示すこと。
22	日本史学	日本語	研究背景や目的・意義を研究史と関わらせて説明し，研究素材となる史料等の所在や研究方法などを具体的に示すこと。なお，最も核心的な史料を挙げ（可能ならば原文，翻刻を添付），その内容を踏まえて記述すること。

2023 年度人文学研究科博士前期課程第 1 期
【一般入試・社会人入試】研究計画書に関する注意点

	分野・専門／コース	使用できる言語	研究計画書の注意点
23	東洋史学	日本語・英語	研究題目，研究背景，研究目的，研究の意義，研究方法を提示すること。研究背景については具体的な先行研究を挙げたうえで，その問題点を指摘すること。
24	西洋史学	日本語・英語	研究計画を日本語で2,000字程度，さらにその要約を英語（300 語以内）で書くこと。研究計画を英語で書く場合は1,000語以上，さらにその要約を日本語（1,000 字以内）で記すこと。
25	美学美術史学	日本語	研究計画を2,000字程度で記し，残りは自らの研究に関わる重要文献を 1 点挙げ，その内容を記すこと（全体で 4000 字程度に収める)。西洋美術志望者は西欧語（英独仏伊）の雑誌論文を挙げること。日本東洋美術志望者は，日本語の雑誌・書籍いずれも可（中国語で書かれた論文・書籍は不可)。
26	考古学	日本語	すでに提出した卒論，それに準じる論文，または現在進行中の卒論の内容を具体的に述べたあと，修論のテーマとの関係を明らかにしながら研究計画書を書くこと。
27	文化人類学	日本語・英語	卒業論文（現在執筆中のものを含む)，またはそれに準じる論文の内容，それらと博士前期課程入学後の研究の関係を説明しつつ，研究計画書を作成すること。研究計画書には研究背景，研究目的，研究方法，研究の意義を具体的に記すこと。
28	英語高度専門職業人	日本語・英語	最初に2,000字以上の日本語で研究計画書を書き，次に同じ内容の研究計画書を 800 語以上の英語で書くこと。

出願資格の事前審査等について

◇出願資格（4）により出願する者の事前審査について

１．事前審査

出願資格（4）により出願する者は，次の書類を**2022 年 6 月 30 日（木）午後 4 時までに必着で**，文系教務課内　人文学研究科入試担当へ郵送し（書留で封筒の表に「出願資格（4）の事前審査」と朱書），出願資格の有無について事前審査を受けてください。証明書は原本を提出してください。

① 履歴書［様式 1］
② 卒業証明書，卒業見込証明書，学位証明書のいずれか 1 つ
③ 成績証明書（大学 1 年次以降の成績が記載されていること）
④ 返信用封筒（住所，氏名を明記した長形 3 号（12cm×23cm）のもの（84 円切手貼付））

提出書類に基づいて，事前審査を実施し，その結果を 2022 年 7 月 8 日（金）までに本人あて通知します。

２．事前審査の結果，「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は，出願書類を受付期間内に**郵送**してください。

なお，事前審査の結果の通知から出願までの期間が短いので，出願書類は事前に準備しておいてください。

◇出願資格（9）により出願する者の個別審査について

１．個別審査

出願資格（9）により出願する者は，次の書類を**2022 年 6 月 30 日（木）午後 4 時までに必着で**，文系教務課内　人文学研究科入試担当へ郵送し（書留で封筒の表に「出願資格（9）の個別審査」と朱書），出願資格の有無について個別審査を受けてください。証明書は原本を提出してください。

① 出願資格審査願［様式 2］
② 出願を希望する分野・専門に関して［様式 3］
③ 高等学校等の卒業等以後の学歴を証明する書類
（卒業証明書，退学証明書，在学期間証明書等のいずれか 1 つ）
④ ③における成績証明書
⑤ 返信用封筒（住所，氏名を明記した長形 3 号（12cm×23cm）のもの（84 円切手貼付））

提出書類に基づいて，個別審査を実施し，その結果を 2022 年 7 月 8 日（金）までに本人あて通知します。

２．個別審査の結果，「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は，出願書類を受付期間内に**郵送**してください。

なお，個別審査の結果の通知から出願までの期間が短いので，出願書類は事前に準備しておいてください。

出願資格の事前審査等についての連絡先

〒464-8601　名古屋市千種区不老町 B4-4(700)
名古屋大学　文系教務課内　人文学研究科入試担当
e-mail: hum@adm.nagoya-u.ac.jp

※出願資格の(4)に該当する者は，文系教務課内　人文学研究科入試担当あてに2022年6月30日（木）午後4時までに必着で本履歴書を郵送してください。

履　歴　書

(Curriculum Vitae)

ふりがな(Furigana) 氏　　名 Nane in block letters	Family Name	First Name	Middle Name	性別 Sex	男・女 M　F
生年月日 Date of Birth	＿＿年＿＿月＿＿日 Year　Month　Day	国　籍 Nationality		志望分野・専門名 Proposed Field of Study	
本国の住所 Address in Home Country	(Tel) －				
現　住　所 Present Address	(Tel) －				

日　付 Dates	年　数 Amount of Time	学　歴 School Career
(Year Month Day) ＿＿年＿＿月＿＿日	(Years Months)	Entrance　小学校入学　Primary/Elementary School
＿＿年＿＿月＿＿日	＿＿年＿＿月	Graduation　小学校卒業　Primary/Elementary School
＿＿年＿＿月＿＿日		Entrance　中学校入学　Junior High School
＿＿年＿＿月＿＿日	＿＿年＿＿月	Graduation　中学校卒業　Junior High School
＿＿年＿＿月＿＿日		Entrance　高等学校入学　Senior High School
＿＿年＿＿月＿＿日	＿＿年＿＿月	Graduation　高等学校卒業　Senior High School
＿＿年＿＿月＿＿日		Entrance　大　学　学部入学　University, Faculty of
＿＿年＿＿月＿＿日	＿＿年＿＿月	Graduation　大　学　学部卒業　University, Faculty of
＿＿年＿＿月＿＿日		Entrance　大学院　修士課程入学　Postgraduate Master's Course
＿＿年＿＿月＿＿日	＿＿年＿＿月	Completion　大学院　修士課程修了　Postgraduate Master's Course
＿＿年＿＿月＿＿日	＿＿年＿＿月	現況（研究生等）　Present Position (e.g.Research Student)
教育年数計　Total	＿＿年＿＿月	

期間　Period	職　歴 Occupational Career
年　月　日 年　月　日	
年　月　日 年　月　日	
年　月　日 年　月　日	

上記のとおり相違ありません
I affirm the above to be true.

申請年月日　Date of Application
＿＿年＿＿月＿＿日
Year　Month　Day

申請者署名
Applicant's Signature ＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名
Name in block letters ＿＿＿＿＿＿＿＿

－ 注　意　事　項　Precautions －

(1)黒インクまたは黒のボールペンで書いてください。 Write in black ink or black ball point pen.
(2)活字体を用いてください。 Use block letters.
(3)固有名詞は省略しないでください。 Do not abbreviate proper nouns.
(4)記入欄が足りない場合は，別紙（A4版横書）に記入し本紙とともに提出してください。 If there is insufficient space on the form, please use a separate sheet of A4 size paper and submit it together with this application form.

※ 募集要項に記載されている**「出願資格」の(9)で出願しようとする者のみ**，文系教務課内
人文学研究科入試担当あてに2022年6月30日(木)午後4時までに必着で**郵送**してください。

出 願 資 格 審 査 願

ふりがな
1. 氏　　名 ……（ 男 ・ 女 ）

2. 生年月日　　年　　月　　日生(満　　歳)

3. 連絡先(現住所)
（〒　　－　　） ……

……

携帯　　－　　－　　自宅(　　)　　－

E-mail ……

4. 国籍・在留資格(外国人の場合のみ)

5. 学歴及び現在の身分
＜学歴＞

年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 小学校入学
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 小学校卒業　(　　年間)
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中学校入学
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 中学校卒業　(　　年間)
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 高等学校入学
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 高等学校卒業 (　　年間)
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ (　　年間)
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
年　月 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ (　　年間)

＜現在の身分＞(　　)

6. 出願予定の分野・専門名

次ページ[様式3]に，あなたが出願を希望する分野・専門に関して，これまでに学習したこと，
これから研究したいテーマを800字以内で書いてください。(Word等により作成した文書を印刷し，
[様式3]に切り貼りすることもできます。)

［様式3］

氏 名	

［出願資格審査願用］

2022年6月発行
名古屋大学文系教務課内人文学研究科　入試担当
〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-4(700)
e-mail: hum@adm.nagoya-u.ac.jp

[Graduate School of Humanities, Nagoya University]
Student Affairs Section for the Graduate Schools of Humanities,
Student Affairs Division for the Schools of Humanities and Social Sciences,
Bunkei Sogo-kan Building,
Nagoya University
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601 JAPAN

（出願書類の持参およびメールでの出願はできません。）